

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009.7.15号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

侵略美化「つくる会」の歴史教科書採択の危険性

「つくる会」の歴史教科書が2社から発行

日本の侵略戦争を「正しい戦争」と教える「新しい歴史教科書をつくる会」は、2001年に教科書検定を合格し、扶桑社から中学校の歴史と公民の教科書を発行しましたが、2001年に公立では養護学校等4校のみで採択、2005年には杉並区、栃木県大田原市で採択、大田原市では今年も採択されました。

「つくる会」は2006年に内紛の末分裂し、扶桑社と絶縁。その結果、新たに自由社から発行するとして、昨年文部科学省の教科書検定を申請し、今年合格しました。

自由社版の内容は、80%が扶桑社版と全く同じで、本文で変わっているのは約13から14%に過ぎません。アジア太平洋戦争を「『自存自衛』のための戦争」と記述し、侵略戦争を正当化するなど国内外から批判の声があがっています。

「つくる会」推薦の今田氏が教育委員長

今年は、2010・2011年度の中学校の教科書を決める年です。横浜市では教科書取扱審議会の答申を受けて教育委員会が教科書を決めます。

前回2005年の教科書採択の際、今田教育委員(当時)は扶桑社版の「つくる会」の歴史と公民の教科書が「一番ふさわしい」「一番望ましい」と主張しました。

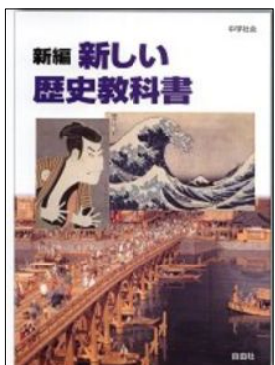
今回は今田氏が教育委員長です。たとえ審議会で「つくる会」の教科書が採択されなくても、教育委員会で採択される危険性があります。

“横浜の子どもたちに危険な教科書はわたせない”と、各界から採択反対の声があがっています。また、緊急の教科書問題シンポジウム(7月21日午後6時半から、横浜市開港記念会館)も計画されています。

自由社と帝国書院の歴史教科書を実際に比べてみると・・・



上が扶桑社発行の教科書
下が自由社発行の教科書



	自由社	帝国書院
大日本帝国憲法	1889年2月11日、大日本帝国憲法が公布された。この日は前夜からの雪で、東京市中は一面の銀世界となったが、祝砲が轟き、山車が練り歩き・・・とお祭り騒ぎを説明。「憲法を賞賛した内外の声」のコラム(自由社)	大日本帝国憲法の内容についての記載はあるが、お祭り騒ぎについては記載なし。代わりに「お雇い外国人ベルツの日記」として「言語に絶したさわぎを演じている」「こっけいなことには、だれも憲法の内容をご存じないのだ」という皮肉を紹介。
原爆投下	本文には「8月6日、アメリカは世界最初の原子爆弾(原爆)を広島に投下した」「アメリカは長崎にも原爆を投下した」のみ。原爆のきのこ雲の写真とともに死亡者数と後遺症についてごく簡単に説明があるだけ。(自由社)	本文で「…アメリカは、8月6日に広島に、8月9日に長崎に原子爆弾を投下しました」という文に続いて、6行にわたって記述。原爆ドームの写真、被災地図、被爆した少女の日記、原爆の関連年表やなぜアメリカが原爆を使ったのかを考えさせる設問あり。
昭和天皇	見開きで、「歴史のこの人」として昭和天皇を1ページ、「昭和天皇のお言葉」を1ページにわたって記載。 扶桑社では、人物コラムとして昭和天皇について1ページを割いて記載。	昭和天皇がマッカーサーと並んで写っている写真のみ。